

日本神経学会（仮）

（1）新型インフルエンザ感染により重症化しやすいため、新型インフルエンザワクチンを優先的に接種することが望まれる基礎疾患を有する者の範囲や定義について

一般的には、社会基盤維持のための職業の人や医療関係者、小児や妊婦あるいは高リスクであることが判明している疾患を有する患者が優先されるべきと思われます。

神経疾患に限定した場合は以下のように考えます。

1. 免疫異常性の神経疾患（多発性硬化症、重症筋無力症、多発筋炎など）は、疾患そのものと免疫抑制治療の両者による免疫学的脆弱性があり優先順位は高いと思われます。
2. 筋萎縮性側索硬化症やパーキンソン病など様々な上記以外の神経疾患でも、高齢であることも多く、とくに進行期で身体的に脆弱な状態にある場合には考慮すべきと思われます。

（2）（1）の者に接種する場合の有効性と安全性について

現在、手元には具体的なデータがないので正確な判断は困難ですが、理論的には以下のようなようになると考えられます。

1. 免疫異常が存在する場合には、ワクチンの有効性が低下する可能性があると思われます。
2. 安全性は一般の場合と著変はないと思われます。